



小国人



令和6年8月22日(木)発行

第12号

文責：校長 横澤 聡一

充実の2学期がいよいよスタート!!

24日間の夏季休業が終わり、20日(火)から2学期がスタートしました。まずは、小国中生に大きな事故・怪我等もなく、2学期を迎えられたことをうれしく思います。

また、この夏休み中には、地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加してくれた生徒が多く、地域の方々からも「大変ありがたかった」という感謝の言葉をいただきました。地域で活躍する小国中生の姿が見られたことは大変うれしいことです。



2学期始業式 校長式辞で生徒に次のような話をしました。

高い目標を持って、まずは足元から

～略～ 今回のオリンピックで感じた事から、2学期をスタートするにあたり、新たな目標に向かっていく皆さんに、「エベレスト理論」を紹介したいと思います。原田隆史さんという元教師で、陸上の全国大会などでチームを何度も優勝に導いた人がいます。原田さんが「エベレスト理論」として次のようなことを言っています。

世界最高峰8000m級のエベレストに登ることを決めて準備する人にとって、日本最高峰3000m級の富士山に登ることは簡単ですが、富士山を目標にしている人が、それ以上に高い山に登れることは決してない。

つまり、どこを目指すか決めた時点で、その後の行動が決まるということです。目標を持たずに必死に努力していたら、いつの間にか全国大会優勝や目標が達成していたなどということは決してありません。優勝する人や目標を達成する人は、優勝・目標を達成するイメージを持ち続け努力しているのです。当然、努力したら、それが実現するとは限りませんが、努力をしなければ、実現する可能性はゼロです。

「エベレスト理論」で私がもう一つその通りだなと思ったことは、全国大会優勝が目標であっても、そのための努力目標は、陸上の記録向上だけではなかったことです。原田さんは競技だけではなく、生活面でも「皿洗いや風呂清掃を毎日続ける」という目標を立てる指導をしていたそうです。

優勝という高い目標を達成するためには、日々の生活にしっかりとした目標を持って過ごすことや一つの物事をやり続けることで人間を磨くということが大切であると教えてもらっているような気がします。

みなさん、「エベレスト理論」を聞いてどう感じましたか。これから、2学期の目標などを立てていきたいと思います。ぜひ、「エベレスト理論」を参考に高い目標を持ち、まずは、足元の日一日を大切に過ごしていってくれることを期待しています。



小・中合同ボランティア 手作りエコバッグを寄贈！！

8月5日(月)に町内の5つの福祉施設に新聞で作ったエコバッグを贈りました。7月19日(金)に小学生と一緒に作成した新聞紙のエコバッグをこの日までに、取っ手などを補強し準備してきました。当日は、施設の方々に直接、お渡ししてきました。事前に送った暑中見舞いのお手紙も掲示していただきました。



エコバッグと作成風景写真を送らせていただきました。



暑中見舞いも送らせていただきました！

県大会・東北大会での活躍！！

山形県吹奏楽コンクール 銅賞受賞！！

8月4日(日)に、やまぎん県民ホール大ホールにおいて、山形県吹奏楽コンクールが行われました。本校吹奏楽部は、小編成の部(出場校32校)に出場し、銅賞を獲得することができました。

夏休み中も、一生懸命練習に励んできました。当日は、まとまりがあり、迫力のある演奏をしてくれました。吹奏楽部の皆さん、おめでとうございました！！

また、東北大会に出場した柔道部の保科柁斗さん、陸上競技部の加藤瑠衣斗さんも、山形県の代表選手として、全力を出し切り頑張りました。お疲れさまでした！！

少年の主張大会・英語弁論大会開催！

今年度の「少年の主張大会小国地区大会」が8月30日(金)におぐに開発総合センターを会場に開催されます。また、9月9日(月)には、長井市置賜生涯学習プラザを会場に「県中学校英語弁論大会西置賜地区予選会」が行われます。

それぞれの大会において、本校はもとより本地区代表者が、置賜大会、県大会そして全国大会へ出場し入賞を果たすなど、多くの先輩方が輝かしい実績を残されてきました。

本校代表として出場する生徒は次のとおりです。ご声援をよろしくお願いいたします。

☆少年の主張大会

3年 川上 白亜 さん

「僕の目指す姿」

3年 岩崎りあん さん

「地域社会と心のつながり」

☆英語弁論大会 Recitation(暗唱)の部

3年 曾根原 昊 さん

「The Spider's Thread」

3年 西原 千穂 さん

「Malala's Story」

2年 木村 苺 さん

「Fly Away Home」

